

常葉大学外国語学部言語文化研究会講演会

現代に生きる小泉八雲とセツ、そして怪談

なぜ、いま小泉八雲とセツ、そして怪談に光があたるのか？

「オープン・マインド」「五感力」「SDGs」「戦後80年」「『怪談』翻訳の広がりと新しい芸術現」「アニミズム」「セツと＜ばけばけ＞」…。そんなキーワードから現代社会と呼応する新しい小泉八雲の世界を探訪します。



写真 小泉八雲(焼津小泉八雲記念館提供)
スケッチ 小泉八雲筆妖怪スケッチ
(『妖魔詩話より』)

講師 小泉凡氏

1961年東京生まれ。成城大学・同大学院で民俗学を専攻後、1987年に松江へ赴任。妖怪、怪談を切り口に、文化資源を発掘し観光・文化創造に生かす実践活動や、小泉八雲の「オープン・マインド」を社会に活かすプロジェクトを世界のゆかりの地で展開する。2022年度全国日本学士会アカデミア賞を受賞。

焼津小泉八雲記念館名誉館長・島根県立大学短期大学部名誉教授・小泉八雲記念館館長。

主著に『民俗学者・小泉八雲』（恒文社）、『怪談四代記—八雲のいたずら』（講談社）、『小泉八雲と妖怪』（玉川大学出版）、『セツと八雲』（朝日新書）ほか。

小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）曾孫、日本ペンクラブ会員。



日時 2025年11月28日(金) 16:45～18:15

会場 常葉大学草薙キャンパス A棟201号室

※入場無料、どなたでもご来場いただけます。

※直接会場へお越し下さい。(公共交通機関でのご来場をお願いいたします。)

問合先 常葉大学 那須野研究室(054-297-6166)/ayako.nasuno@sz.tokoha-u.ac.jp

